みなさんの農協から

農家の皆さん、豊年の秋を迎え日夜御奮斗御苦労さんです。

町のあゆみの紙上を拝借致しまして向日町農協のお願いなりお知らせを致します。

1. 信用部

今年は六十年振りの豊作と云われて居ります、この機会にうんと各農家の方々に繭を締められて将来の基礎を確立して下さい、本農協では豊年定期貯金を募集致します、多大の御協力を御願い申上げます。

2. 販売部

唯今予約売渡に依る受入検査を実施し、十二月に入り左記日程で入庫検査を行いますが、幸い豊作のためか粒が揃っていて現在迄の検査結果では、乾燥さえ良ければ検査数の七割迄三等になつて居ります。尚酒米のわくも有りますので品質と乾燥に御留意して、入庫検査日に最非御協力下さい。

十二月入庫検査部落別日割表——三日森本区、農業倉庫午前九時より午後四時迄。四日鶏冠井区同右。六日上植野区、各支庫午前九時より午後四時迄。八日寺戸区、長谷川倉庫午前九時より正午迄、農業倉庫午後一時より午後四時迄、十日物集女区、農業倉庫午前九時より正午迄。

3. 購買部

農家の皆さんが日常使くべからざる肥料と農機具特に調整用のゴムロールも取揃えて居ります。最近大流行の家庭養鶏の配合飼料も用意して居ります、特に文化に是非必要なセメント、生産地直取引の上質、冬向のゴム地下足袋等安心して安い品物ばかりを取揃えて有ります。十一月二十六日現在の農協販売価格を一覧致します。

(1)肥料——硫安一、八八〇円、石灰窒素二二、五K五六〇円、尿素四、五K八八〇円、加里一袋八八〇円、過燐酸一〇貫五六〇円、消石灰袋八八〇円。

(2)その他——俵装用繩三分一巻二六〇円（約四貫玉）、二分一巻二二五円（約三貫玉）。雨傘番傘一本大二六〇円小二三〇円子供傘一七五円。地下足袋一足二六〇円、上敷極上等品一帖二〇〇円、セメント一袋四五〇円。尚農業一式家庭園芸の花卉種子蔬菜種々般に亘り揃えて皆々様の御利用をお待ちして居ります。

(3)指導部——親穂の更新について

毎年〳〵自家採種を繰返えすと品種固有の特性は年々退化し減収の原因となりますので、土地、栽培等に合つた品種の親種子と三年に一度は更新することが必要です。

農協に於いては毎年農事試験場より原種の配付を受け本町に適応した品種を慎重に選択して採種事業を行つて居ります、本年準備致しております品種は次の7種です。即ち中生種では山陰46号、中生新千本、農林37号、晩生種では東山62号、新旭、山陰46号、肥沃地、多肥栽培用には東山62号、中生新千本、山陰41号等で、一般平坦地向きには新旭、旭糯が有ります。尚詳しくは近日中に各部落を通じ品種特性表を添え申込書を回覧致しますので、明年度の作付に備え希望の方はもれなく御申込み願います 今後のビール大麦の肥培について——ビール大麦の播付は比較的好天候に恵まれ適期である十一月末までに殆んど完了されましたが、本年度は特に会社の要望に依り栽培者各位の御協力を得て町に於て約四〇〇反歩中生種スワンハルスが栽培されて居りますので、このスワンハルスに重点を置き今後に於ける管理につき栽培上の参考に致したいと考えます。

従来の施肥方法は人糞尿主体でありそのため窒素質のみの吸收と成り、生産物は品質、色沢が悪いものが多い為に下肥と共に鱗酸、加里質肥料の併用を行い三要素の均衡を計る必要があります、その為鱗酸肥料では基肥に施用して居ない場合には出来る限り年内に下肥等と混合して過燐酸石灰で六—七貫の施肥とすること、次に加里肥料は基肥に施用してない時は二月上—中旬迄に下肥等と混合して堆化加里では二貫又は三貫の施用をお奨め致します、窒素質肥料の施肥量は敎獲目標、栽培地の条件に依り異なるが反收三石の場合には成分全量で二貫八百匁が必要です、総量の場程度を基肥を施し残量を分蘗初期（十二月下旬頃）に第一回目として施し、第二回目は分蘗の中期又は最盛期（二月上旬又は中旬）に施用し最後の追肥（止肥）は出穂前40日位に当る三月上—中旬（幼穂が一—二粍の頃）に施す様にします。追肥時期のうちで最後の止肥の時期、施肥量は品質、收量に大きく影響するため、醸造用大麦としては出来るだけ早い目に止肥を施して、しかも倒伏させない程度の適量を施用することが大切である。特にスワンハルスは倒伏し易いため生育状態により施肥量の加減を行うことが必要です。

中耕除草は根の発育を良好にして肥料のきゝめを増すため生育期間中に三回位行うこと、又土入麦踏み等も土壌の乾燥した時を選び特にスワンハルスは土入を充分に行つて倒伏を防止することが肝要であります。

飛躍する向日町上水道

上水道浄水場完備なる能力は従来の二倍

向日町上水道では従来の老朽せる西向日旧水源施設では、将来の町発展及人口増加に対し完全なる飲料水の供給が不可能となるため、昨年より同水源地内に新浄水設備を築造中のところ十一月末に工事が無事完了致し、十二月上旬より新設備の運転を開始し上水道により一層の威力を増加したのであります。

新施設の内容は左記の通りであります、揚水ポンプ及同室一五馬力一台送水ポンプ一五馬力二台補助原動機ディゼルエンヂン一六馬力一台、気泡濾過槽一池、貯水池約一五〇屯八一池、電解式塩素滅菌器、以上の設備を設置致し近代的浄水場として水道界に飛躍いたしその能力は従来の二倍強に匹敵するものであり、向日町発展の原動力として重要な役割を果すものと存じます。

部落へ給水近し

水道第三期工事着工

昭和二十八年度より継続中の上水道布設工事は全計画の大半を完了致し殆々初期の目的を達しつゝあります。

上水道配水管布設工事中は等に皆様の絶大なる御支援、御協力を賜り感謝して居りまも。町当局におきましても町民各位の御期待にそうべく鋭意努力致し、本年度内に全計画を完了する予定であります。

今回実施の工事は、去る十一月十九日より着工致し其の工事地域は上植野、西向日、鶏冠井、森本の四部落の中心部に布設し、口径は七五—二五粍にして其の延長は一、八八三米であり要所には消火栓を設置致します、之が完成の暁は上水道も完備され消防上においても、衛生的見地からも不充分であつた各地域にも満足して戴けるものと確信致します。

尚本工事中は農繁期のため農家の皆々様に種々御不便をおかけ致す事と存じますが何卒本工事の趣旨を御宣察下さいまして御協力下さいます様お願い申上げます。

本工事完了と同時に各家庭への給水工事も実施しますから、御希望の方は御手数ですが役場水道係まで御申込下されば一千三百万円其他国庫補助金等依存財源六百五十四万余円となります

歳出は一般会計（町全般の行政費）四千七百六十八万円余と別に上水道の布設の会計と上水道の既設の維持経営と拡充の会計と社会施設の一環として授産場設置の各特別会計を合せて一千八百四十四万余円となり前記の歳入で歳出を経理してきました。

このようにして国庫及府の補助金は何れも補助対照となる事務費と事業費の一部で歳出の分と相関連しており主なものは四百四十二万円余で住宅建設補助金となつておるのであります。歳出の合計四千七百六十八万円余で各科目については次表の通りでありますが、特記事項を二、三申しますと土木費四百三十七万余円の内三百二十四万円は府道舗装工事費に対する受益負担金であり社会及び労働施設費の八百七十七万余円の内七百三十一万余円は町営住宅建設費であります（前年度約九百五十四万余円繰計一千六百八十五万余円）財産費五百九十万円余の内約五百三十万円は土地区画整理買收代金であり右は臨時的なもので、経常的なものでは教育費四百九十三万円余の内乙訓中学校経費の町負担金百三十八万円余教育委員会五十四万円余が含まれておりますが、又保健衛生費二百七万余円の内には伝染病院の負担金三十三万円余が含まれておるのであります。

歳入歳出差引残金一千三十七万余円となつておりますが、この内七百七十万円余は土地購入に関する保管金と外に特別事業繰越分三十五万円があり純粋の剰余繰越金としては二百三十余万円となります。

特別会計上水道布設費は主な財源を町債に仰いでおりその他は各々その事業收入で其の事業費を賄つていまして詳細は次表の通りであります。

一婦人より社協へ寄附

去る十一月四日午後向日町警察署へ吹田市山田落生会病院社宅内の一婦人が来署されて、向日町在住の貧しい人に分配して下さいと言つて金二千円を寄附されましたので警察より向日町社会福祉協議会が事業資金として受領致しました。（社協より）

昭和二十九年度決算公表

昭和29年度向日町歳入歳出決算

歳入

種別（款）	予算額	調定額	收入済額	予算現額に比し増減 △（減）
1. 町税	29,582,240円	37,905,950円	31,166,191円	1,583,954
2. 地方財政平衡交付金	1,000,000	—	—	△ 1,000,000
公営企業及財産收入	754,400	867,827	867,827	113,427
4. 使用料及手数料	121,200	158,580	158,580	37,380
5. 国庫支出金	5,266,900	5,266,420	5,266,420	△ 480
6. 府支出金	292,600	305,441	305,441	12,841
7. 寄附金	43,582,050	13,970,000	13,970,000	△ 29,612,050
8. 繰入金	3,300,000	3,000,000	3,000,000	△ 300,000
9. 繰越金	2,565,600	2,664,886	2,664,886	99,286
10. 雑收入	771,700	660,054	660,054	△ 111,646
歳入合計	87,236,690	64,799,158	58,059,402	△ 29,177,288

歳出

種別（款）	予算額	支出済額
1. 議会費	1,968,090	1,919,116
2. 役場費	8,389,900	8,370,521
3. 警察消防費	2,116,040	2,087,484
4. 土木費	5,151,600	4,376,971
5. 教育費	5,001,950	4,934,200
6. 社会及労働施設費	8,804,430	8,774,749
7. 保健衛生費	2,265,060	2,070,324
8. 産業経済費	2,175,620	2,107,393
9. 財産費	43,719,410	5'909,367
10. 統計調査費	289,220	237,283
11. 選挙費	597,770	548,922
12. 公債費	721,460	721,449
13. 諸支出金	5,836,140	5,628,223
14. 予備費	200,000	—
歳出合計	87,236,690	47,686,002

差引残金 10,373,400円（翌年度繰越）

昭和29年度特別會計向日町授産所歳入歳出決算

歳入

種別	予算額	調定額	收入済額	予算現額に比し増減 △（減）
1. 製品收入	2,040,000	1,982,596	1,982,596	△ 57,404
2. 雑收入	74,100	94,430	94,430	20,330
3. 繰越金	—	31,491	31,491	31,491
歳入合計	2,114,100	2,108,517	2,108,517	△ 5,583

歳出

種別	予算額	支出済額
1. 役場費	2,092,100	2,077,699
2. 予備費	22,000	—
歳出合計	2,114,100	2.077.699

差引残金 30,818円

昭和29年度特別會計向日町第1上水道歳入歳出決算

歳入

種別（款）	予算額	調定額	收入済額	予算現額に比し増減 △（減）
1. 使用料及手数料	786,490	840,418	833,826	47,336
2. 繰越金	10,000	205,843	205,843	195,843
3. 雑收入	411,470	126,311	125,021	△ 286,449
歳入合計	1,207,960	1,172,572	1,164,690	△ 43,270

歳出

種別（款）	予算額	支出済額
1. 上水道費	1,142,960	822,057
2. 財産費	50,000	50,000
3. 予備費	15,000	—
歳出合計	1,207,960	872,057

昭和29年度特別會計向日町第2上水道歳入歳出決算

歳入

種別	予算額	調定額	收入済額	予算現額に比し増減 △（減）
1. 使用料及手数料	893,720	1,050,603	1,042,302	148,582
2. 繰入金	2,750,000	2,750,000	2,750,000	—
3. 繰越金	—	1,016,622	1,016,622	1,016,622
4. 雑收入	1,537,170	2,826,477	2,748,301	1,211,134
5. 町債	27,000,000	8,000,000	8,000,000	△ 19,000,000
歳入合計	32,180,890	15,653,702	15,557,228	△ 16,623,662

歳出

種別	予算額	支出済額
1. 上水道費	4,201,770	4,116,274
2. 公債費	1,014,520	258,260
3. 水道布設工事費	26,764,600	11,117,364
4. 予備費	200,000	—
歳出合計	32,180,890	15,491,898

差引残金 65,330円